

令和3年7月20日
総務教育常任委員会
消防本部警防課・救急課

令和3年上半期の火災・救急・救助概要について

加古川市消防本部

火 災 概 要

1 火災件数

- (1) 令和3年上半期の火災件数は34件で、前年同期と比較すると18件の減少となっています。
- (2) 火災種別毎の火災件数を前年同期と比較すると「建物火災」は19件で8件の減少、「林野火災」は0件で2件の減少、「車両火災」は6件で1件の増加、「その他火災」は9件で9件の減少となっています。
- (3) 全火災(34件)のうち建物火災の占める割合は55.9%となっています。

市町別 \ 火災種別	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	増 減 数
加古川市	16		6		8	30	-5
稲美町	3				1	4	-9
播磨町						0	-4
合 計	19	0	6	0	9	34	-18
増 減 数	-8	-2	+1	±0	-9	-18	

2 被害程度

(1) 人的被害

ア 火災により、25世帯52人がり災しています。

イ 「死者」は4人発生して前年同期と比較すると1人の増加、「負傷者」は13人発生して1人の減少となっています。

市町別 \ 区分	り災世帯数 (世帯)	り災人員 (人)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)
加古川市	22	47	3	13
稲美町	3	5	1	0
播磨町	0	0	0	0
合 計	25	52	4	13
増 減 数	-3	-13	+1	-1

(2) 物的被害

ア 建物火災の焼損床面積は3,329㎡で前年同期より2,348㎡の増加となっています。

イ 建物火災による損害額は1億4,139万1千円で前年同期より1,362万6千円の増加となっています。

区分 市町別	建物焼損 床面積 (㎡)	焼損床面積 増減数 (㎡)	損害額 (千円)	損害額 増減数 (千円)
加古川市	3,071	+2,593	134,048	+54,410
稲美町	258	-244	7,343	-23,838
播磨町	0	-1	0	-16,946
合計	3,329	+2,348	141,391	+13,626

3 主な出火原因

全火災(34件)の出火原因のうち「ごみ焼き」が5件で全体の14.7%と最も多く、次いで「たばこ」、「放火」が4件、「こんろ」が3件、「電気機器」、「火遊び」が2件、「配線器具」、「電灯の配線」、「溶接機等」が各1件発生しています。

また、出火原因の「放火」4件のうち、建物火災は1件となっています。

市町別 原因別	加古川市						稲美町						播磨町						合計		
	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	小 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	小 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	小 計			
ごみ焼き (枯草焼き等)					4	4						1	1						0	5	
たばこ	4					4							0							0	4
配線器具	1					1							0							0	1
こんろ	3					3							0							0	3
電気機器			1			1	1						1							0	2
電灯の配線	1					1							0							0	1
溶接機等						0	1						1							0	1
放火	1		1		2	4							0							0	4
火遊び	1				1	2							0							0	2
不明	2		1			3	1						1							0	4
その他 (上記以外)	3		3		1	7							0							0	7
合計	16	0	6	0	8	30	3	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	34	

4 その他災害の活動状況

(1) 令和3年上半期のその他災害件数は661件で、前年同期(622件)と比較すると39件増加しています。

(2) その他災害種別毎の件数を前年同期と比較すると「危険物排除」は30件で1件の増加、「燃焼物排除」は13件で7件の減少、「警戒・警備」は24件で3件の増加、「誤報」は66件で3件の減少、「水防」は0件で1件の減少、「調査」は4件で増減なし、「救急支援」は478件で31件の増加、「その他」は46件で15件の増加となっています。

(3) 全その他災害件数のうち、「救急支援」の占める割合は72.3%となっています。

種別	内容	加古川市	稲美町	播磨町	他市	小計	合計	増減数
危険物排除	施設等から危険物の流出	1				1	30	+1
	交通事故等による油流出	24	4	1		29		
燃焼物排除	枯草・あぜ焼き	6	1			7	13	-7
	ごみ焼き	3	3			6		
	火あそび					0		
警戒・警備	異臭・異音	1				1	24	+3
	危険物流出事故の警戒	1	1	1		3		
	防災ヘリ等の離着陸場の設定、誘導、警戒	14	2			16		
	建物等の倒壊、落下に対する警戒					0		
	鎮火後の現場警戒	3	1			4		
誤報	自動火災報知設備等の誤作動又は誤操作	43	5	2		50	66	-3
	火災と見誤ったもの(水蒸気、あぜ焼きの煙等)	13	2			15		
	虚偽の通報		1			1		
水防	風水害等の活動又は警戒					0	0	-1
調査	事後に知り得た災害事故調査	3		1		4	4	±0
救急支援	心肺機能停止状態が疑われる場合の支援	306	45	30		381	478	+31
	高速道路、バイパス、国道、県道等における活動隊の安全管理	50	2	8	2	62		
	傷病者の搬出における支援	16	2	3		21		
	その他	12	1	1		14		
その他	上記の種別に該当しないもの	33	5	8		46	46	+15
合計		529	75	55	2	661	661	+39

救 急 概 要

1 救急出動件数

(1) 令和3年上半期の救急出動件数は7,383件、搬送人員数は6,842人で前年同期と比較すると救急出動件数は6件増加、搬送人員数は3人減少しています。

(2) 救急出動件数は1日平均40.8件(前年同期40.5件)で、35.3分(同35.5分)に1回の頻度で救急出動しています。また、1日の最多救急出動件数は59件(同68件)となっています。

(3) 現場到着所要時間の平均は8.4分(前年同期+0.4分)となっています。

市町別	区分	救急件数	増減数	搬送人員	増減数
加古川市		5,978	+105	5,531	+88
稲美町		667	-6	624	-2
播磨町		731	-95	680	-90
他市		7	+2	7	+1
合計		7,383	+6	6,842	-3

2 事故種別救急出動件数

事故種別については、「急病」が4,775件で前年同期より15件増加し、全体の64.7%を占めています。

事故種別	区分	急病	一般負傷	交通	転院	その他	合計
件数		4,775	1,142	574	589	303	7,383
比率		64.7	15.5	7.8	8.0	4.0	100
増減数		+15	+4	+8	-9	-12	+6

3 傷病程度別搬送人員数

傷病程度別については、「中等症」が3,431人で前年同期より242人増加し、全体の50.2%を占めています。

傷病程度	区分	軽症	中等症	重症	死亡	合計
人員数		2,311	3,431	974	126	6,842
比率		33.8	50.2	14.2	1.8	100
増減数		-387	+242	+130	+12	-3

4 年齢区分別搬送人員数

年齢区分別については、「高齢者」が4,257人で前年同期より131人増加し、全体の62.2%を占めています。

年齢区分 区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
人員数	3	386	217	1,979	4,257	6,842
比率	0.1	5.6	3.2	28.9	62.2	100
増減数	-1	-26	-17	-90	+131	-3

5 病院収容所要時間別搬送人員数

(1) 救急事故の覚知から傷病者を医療機関に収容するまでに要した時間は、「30分以上60分未満」が最も多く4,020人で全体の58.8%を占めています。

(2) 病院収容所要時間の平均は35.6分（前年同期+2.3分）です。

所要時間 区分	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	平均 所要時間
人員数	1	269	2,190	4,020	336	26	35.6分
比率	0.0	3.9	32.0	58.8	4.9	0.4	
増減数	±0	-41	-422	+336	+102	+22	

6 新型コロナウイルス感染症患者（疑い含む）搬送人員数

新型コロナウイルス感染症患者（疑い含む）搬送人員数は275人で、このうち陽性者数は154人です。

市町別 区分	新型コロナウイルス感染症患者（疑い含む）搬送人員数			
	総数	増減数	うち陽性者数	増減数
加古川市	251	+163	147	+145
稲美町	15	+8	4	+4
播磨町	9	-2	3	+3
合計	275	+169	154	+152

救 助 概 要

1 救助出動件数

(1) 令和3年上半期の救助出動件数は164件で、前年同期と比較すると12件減少しています。

(2) 事故種別毎の救助出動件数で、最も多いのは「建物等による事故」の81件(49.4%)、次いで「交通事故」の33件(20.1%)となっています。

なお、「建物等による事故」とは、建物内での「挟まれ」や「閉じ込め」、また、「施錠された建物内での安否確認」等も含まれています。

事故種別 市町別	火災	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	その他の事故	合計	増減数
加古川市	18	24		1	64	1	23	131	- 2
稲美町	2	5		2	4		2	15	- 10
播磨町		3			13		1	17	±0
他 市		1						1	±0
合 計	20	33	0	3	81	1	26	164	- 12
前年比	- 7	+ 4	- 5	+ 1	- 2	- 1	- 2	- 12	

2 事故種別救助人員数

(1) 救助人員数は83人で、前年同期と比較すると7人の増加となっています。

(2) 事故種別毎の救助人員数で、最も多いのは「建物等による事故」の44人(53.0%)、次いで「交通事故」の17人(20.5%)となっています。

事故種別 市町別	火災	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	その他の事故	合計	増減数
加古川市	5	10		1	35		13	64	+ 1
稲美町	1	6		1	2		1	11	+ 7
播磨町		1			7			8	±0
他 市								0	- 1
合 計	6	17	0	2	44	0	14	83	+ 7
前年比	+ 3	+ 4	- 3	+ 1	- 4	- 1	+ 7	+ 7	

3 傷病程度別救助人員数

事故種別・傷病程度別救助人員数を前年同期と比較すると、「死亡」は23人で増減はなく、「重症」は12人で2人の減少、「中等症」は23人で3人の減少、「軽症」は8人で2人の増加となっています。

事故種別 傷病程度	火災	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	その他の事故	合計	増減数
死亡	3	3			14		3	23	±0
重症	1				10		1	12	- 2
中等症	2	6		1	12		2	23	- 3
軽症		4		1	2		1	8	+ 2
その他		4			6		7	17	+ 10
合計	6	17	0	2	44	0	14	83	+ 7
前年比	+ 3	+ 4	- 3	+ 1	- 4	- 1	+ 7	+ 7	